

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者地域活動支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の地域活動を促進するため、雇用されることが困難な障がい者への創作的活動及び生産活動の機会の提供や、意思疎通支援者の派遣、スポーツ大会の開催などの事業を実施します。 ・地域活動支援センター事業（1型、3型） ・意思疎通支援事業（意思疎通支援者派遣及び養成事業等） ・障がい者社会参加促進事業（身体障害者スポーツ大会の開催等）		
2年度概要	地域活動支援センター（1型及び3型） 障害者社会参加促進 コミュニケーション支援		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市在住の障がい者
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者の自立した日常生活又は社会生活を促進する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
地域活動支援センター 型事業所の開所日数	日	2,071	924	924	2,000	2,071

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	利用人数	人	目標値	18,000	18,000	18,000	18,000	17,657
	実績値			18,926	21,294	20,122		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値を概ね達成している。 (目標達成度)							(達成度) 111.8% 35点
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	90,676	94,247	93,758	93,758
（事業費）	[円]	83,089	86,685	86,170	86,170
（職員人件費）	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 精神障害者の自己表現の場として大きく貢献している。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 障がい者スポーツを始め、あらゆる分野と機会を積極的に活用し、障がい者の社会参加に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画 体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価 担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者福祉タクシー事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の社会活動の範囲を広げ、社会参加を促進するため、タクシー料金の一部助成を行います。		
2年度概要	障害者福祉タクシー助成券の交付		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象(何を)	身体障害者・療育・精神障害者保健福祉手帳の重度・最重度等級所持者、身体障害者手帳を所持する、補装具・介護保険等による車いす・電動車いす利用者（18歳以上の場合は、本人と配偶者が市民税非課税であること）
意図(どのような状態にしたいか)	障がい者の社会活動の範囲を広げ、もって障害者の福祉の増進を図る。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
タクシー助成券交付者数	人	3,850	3,393	3,393	4,000	3,905

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2	中期目標 R2
成果指標	タクシー助成券使用率	%	目標値	50	50	50	50	51.11
	実績値			50.25	37.83	37.83		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 概ね目標値を達した。 (目標達成度)							(達成度) 75.7% 26点
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)
	成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R2

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[円]	44,181	43,829	40,705	43,904
(事業費)	[円]	36,594	36,267	33,117	36,316
(職員人件費)	[円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク (A~D)	B	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 障害者の外出機会の創出等、日常生活の向上に大きく貢献している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 利用者にとってより分かりやすく利用しやすい制度となるよう制度の整理を行う。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障害者社会活動支援事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者（児）の社会参加を促進し、交流や親睦を深めることで福祉の向上を図るため、障がい者（児）団体等に対し、支援を行います。		
2年度概要	障がい者団体への支援 障がい児団体への支援 高松市障害者を守る会への支援		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型	

【事業の目的】

対象（何を）	高松市在住の障がい者。
意図（どのような状態にしたいか）	障がい者（児）の社会参加を促し、交流や親睦を深める事で福祉の向上を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
補助金交付件数	件	16	17	17	17	16

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	障害者社会見学事業における参加者数	人	目標値	1,300	1,300			1,000
			実績値	800	1,231			
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 社会見学事業の参加者数は目標値に到達しなかった。（目標達成度）							(達成度)
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） （目標達成度）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 29年度（決算）	平成 30年度（決算）	平成 31年度（決算）	令和 2年度（予算）
トータルコスト	[円]	16,468	16,386	14,939	15,035
（事業費）	[円]	7,364	7,312	5,833	5,929
（職員人件費）	[円]	9,104	9,074	9,106	9,106

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

市民の生活をバックアップする団体への助成を行い、市民生活の向上に大きく貢献している。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

手話言語条例の施行に伴い、手話通訳者の新規研修事業が令和元年度から開始した。今後も時代背景やニーズに合わせた柔軟な事業運営に努める。

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	福祉のまちづくり推進事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	障がい者の社会活動への参加を促進するため、香川県福祉のまちづくり条例に基づき、市民の誰もが安全かつ円滑に利用できるよう、公共的建築物等の福祉的環境整備を行います。		
2年度概要	特定施設新築等届出書の受付審査		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	



【事業の目的】

対象(何を)	市内に特定施設を整備する人
意図(どのような状態にしたいか)	公共的建築物等の福祉環境の整備を促進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
特定施設新築等届出書等の審査件数	件	78	56	45	50	80

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
特定施設整備主に対する指導および助言数	件	目標値	80	80	80	80	80
		実績値	78	56	45		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 届出件数は、特定施設の建築数に左右され、予想がつきにくいことから、これまでの実績に基づき、毎年度約80件前後の届出であると想定している。 		(目標達成度)					(達成度) 56.3%
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 届出に係る指導及び助言書は届出件数と同数であることから、毎年度約80件前後の届出であると想定している。 		(目標達成度)					(達成度) 19点

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(決算)	令和2年度(予算)
トータルコスト	[千円]	789	766	769	789
(事業費)	[千円]	30	10	10	30
(職員人件費)	[千円]	759	756	759	759

【評価】

評価ランク (A~D)	C	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)			
障がい者の住みやすいまちづくりに大きく貢献している。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)			
制度の更なる周知を行うなど、条例の趣旨について継続して啓発に努める。			

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	087-839-2333
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	市
	事務事業	障がい者アートリンク事業		事業期間	平成28年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	芸術活動を通じて障がい者の感性・創造力を育み、障がい者の社会参加の促進を図るため、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、創造性の芽を持つ障がい者とアーティストが、長期継続的に関わることで生まれる新しい概念をかたちにする創作活動を支援します。
-------	--

2年度概要	派遣先事業所 14か所 報告展：年1回開催 報告書作成：年1回 会計年度任用職員1名雇用
-------	---

重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）
--------	------	----------	----	---------	-------------------

【事業の目的】

対象（何を）	障がい者（児）
意図（どのような状態にしたいか）	芸術活動を通じた障がい者の感性・想像力を育み、障がい者の社会参加の促進を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
アートリンク実施事業所数	事業所	10	12	13	13	13

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
成果指標	アートリンクに参加した障がい者（児）延べ人数	人	目標値	2,200	2,200	2,200	2,500	2,500
	実績値	4,721	5,500	5,408				
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 令和2年3月に予定していた活動報告展が中止になったことにより参加延べ人数は昨年度よりやや減少したが、目標値を達成した。							(達成度) 245.8% 35点
	（目標達成度）							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]	20,128	20,049	19,997	20,023
（事業費）	[千円]	12,541	12,487	12,409	12,435
（職員人件費）	[千円]	7,587	7,562	7,588	7,588

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

前年度から継続して、希望する障害福祉サービス事業所等へ芸術家を派遣し、各事業所等での活動を年間通じて行った。なお、令和2年3月に予定していた成果報告としての作品展示は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見送った。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

情報発信の強化、芸術家の派遣先である事業所の入替や、新規事業者の参入を図るなど、より効果的に事業を促進する。
--

令和 2年度（3年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	健やかにいきいきと暮らせるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	支え合い、自分らしく暮らせる福祉社会の形成		課(室)名	障がい福祉課
	施策	障がい者の自立支援と社会参加の促進		電話番号	
	基本事業	障がい者の社会活動への参加の促進		事業実施主体	
	事務事業	手話言語・障がい者コミュニケーション手段の普及促進事業		事業期間	平成3年度～令和5年度

【事業全体概要】

事業の概要	言語としての手話に対する理解の増進と、障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用の促進のため、必要な施策を策定し、及び実施します。				
2年度概要	手話通訳者育成研修 UDトーク搭載タブレットの導入 職員研修講師等謝金 商店街コミュニケーションボード事業 小学校での手話学習事業				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	1-	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）

【事業の目的】

対象（何を）	市民
意図（どのような状態にしたいか）	言語としての手話に対する理解の増進並びに障がいの特性に応じた多様なコミュニケーション手段の普及及び利用の促進により、障がいのある人もない人も分け隔てられることなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら、笑顔で暮らすことのできる、障壁のない地域共生社会の実現に寄与する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
手話通訳者等育成研修（職員向を含む）開催回数	回			6	6	6

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	手話通訳者育成に向けた研修参加者数（累積）	人	目標値			110	110	110
			実績値			58		
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 目標値に届かなかった。 (目標達成度)							(達成度) 52.7% 18点
	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H29	H30	H31	R 2	中期目標 R 2
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	平成29年度（決算）	平成30年度（決算）	平成31年度（決算）	令和2年度（予算）
トータルコスト	[千円]			6,995	7,723
（事業費）	[千円]			3,201	3,929
（職員人件費）	[千円]			3,794	3,794

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
------------	---	--------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）

平成31年3月に制定した、高松市手話言語及び障害のある人のコミュニケーション手段に関する条例に基づき、コミュニケーション支援アプリ「UDトーク」を搭載したタブレットを本庁舎・出先機関に計15台配置するなど、障がいのある人が多様なコミュニケーション手段を選択できる環境整備に努めた。

【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）

市民や事業所を含め市全体に条例の趣旨の理解が深まるよう努めることが、市の責務として求められることから、特に周知啓発に軸足を置いた事業を展開する。